

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)



産業廃棄物処理計画書

令和6年7月4日

都道府県知事
(市長) 殿

〒872-1105 大分県豊後高田市西真玉1019番地1

提出者 株式会社 真玉キャトルファーム
住 所 代表取締役 栗 原 勝 洋
氏 名 TEL 0978-25-5789
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 真玉キャトルファーム
事業場の所在地	大分県豊後高田市西真玉1019-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01農業(畜産業)
② 事業の規模	肉牛784頭
③ 従業員数	6人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿 自ら堆肥化 動物の死体 化製場へ処理委託

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役社長 廃棄物処理方針の決定
各種事業の決定

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（ 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類

動物糞尿

死体

排 出 量

7045
t

8.5 t

(これまでに実施した取組)
飼養管理の改善

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

い

り

排 出 量

7100 t

6 t

(今後実施する予定の取組)
飼養管理の改善

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	死体
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	4720 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 完熟堆肥処理施設で処理した後、田畑にすきこんだ。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	い	い
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	5000 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 完熟堆肥処理施設で処理した後、田畑にすきこんだ。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	い	い
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2325 t	t
	(今後実施する予定の取組) 完熟堆肥処理施設で処理する。		
②計画	【目標】		

		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	2500 t	t
		(今後実施する予定の取組) 完熟堆肥処理施設で処理する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ふん便尿		死体
	全処 理 委 託 量		t	8.5 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	t

		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ふん尿	死体
	全 処 理 委 託 量	t	6 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄		